

令和元年度 後志の研究活動

研修部長 喜茂別町立喜茂別小学校
校長 木村 明彦

1. はじめに

後志小中学校長会は、小樽市を除く後志管内19町村の公立小中学校に所属する63名の会員で組織されている。

本会は地区を単位に4つのブロックに分け、地区ブロックごとに主題に関わる共通の研究領域を設定して研究を推進している。各地区ブロック研究交流会を経て、その成果を後志小中学校長会研究大会につなげることで、研究主題解明に取り組んでいる。



2. 研究計画

(1) 研究主題

『成長の連続性を深め、つなげる学校経営の推進と校長の在り方』

(2) 研究内容

後志小中学校長会は子供の成長の連続性と広がりに着目して、「教育課程を核とした計画的な実践推進を“連続性”とし、小中連携や地域社会の協働体制まで広げる学校経営を“広がり＝つながり”」として、第15次3カ年研究をスタートさせた。

2年次目は、子供の成長の連続性の「深まり」と「つながり」を、より明確に意識するため、研究主題に「深め」を加え、「深め」る視点を縦軸として“教育課程”（視点1）から、広げ「つなげ」る視点を横軸として“連携・接続”（視点2）から迫ろうとしたものである。

3年次目の今年は、過去2年間の研究成果を基盤に、また、各ブロックの研究実践をもとに相互理解を深め、どのようにリーダーシップを発揮するのか、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割について本主題を更に究明し、まとめを行っていく。

(3) 研究の重点

- ①町村、ブロック研究組織と連携し、組織的・継続的な研究の充実を図ること
- ②研究成果を、経営課題、教育課題の究明と経営ビジョンの構築に生かしていくこと
- ③研究成果について共有化を図り、各校の実践へと結びつけていくこと

(4) 研究計画

- ①後志小中学校長会研究大会の開催
- ②後志管内4ブロックでの「ブロック研究交流会」の開催
- ③「研究の手引き」、「研究紀要」の発行
- ④全道・全国大会への積極的参加と全道・全国大会提言のためのプロジェクト活動の推進

3. 研究の概要, 研究活動など

(1) ブロック研究交流会

ブロック	開催日	開催地	研究領域	提 言 者 (所属)
南	9月24日(火)	寿都町	連携・接続	古田 統 校長 (近藤小学校) 柴田 真琴 校長 (島牧中学校)
山 麓	10月 2日(水)	留寿都村	教育課程	中田恭太郎 校長 (京極小学校) 小田 篤志 校長 (真狩中学校)
岩 宇	9月25日(水)	岩内町	連携・接続	増川 恵子 校長 (神恵内小学校) 宮本 元仁 校長 (共和中学校)
北	9月30日(月)	古平町	教育課程	横山 政彦 校長 (野塚小学校) 佐藤 英治 校長 (余市西中学校)

(2) 後志校長会研究大会

◇期 日：10月21日(月)

◇場 所：京極町公民館・湧学館

◇助 言 者：北海道教育庁後志教育局義務教育指導監 神 守 一 志 様
北海道教育庁後志教育局教育支援課長 川 野 靖 幸 様
北海道教育庁後志教育局義務教育指導班主任指導主事 鈴 木 理 沙 様

分科会		研究領域	提 言 者	研 究 課 題
第1分科会	小学校 課題1	北 教育課程	積丹町立野塚小学校 校長 横山 政彦	「知性や人間性を育む社会に開かれた教育課程の創造」
	小学校 課題2	岩 宇 連携・接 続	神恵内村立神恵内小学校 校長 増川 恵子	「より良い社会づくりに向け、チーム力を高める連携・接続」
第2分科会	中学校 課題1	山 麓 教育課程	真狩村立真狩中学校 校長 小田 篤志	「知性や人間性を育む社会に開かれた教育課程の創造」
	中学校 課題2	南 連携・接 続	島牧村立島牧中学校 校長 柴田 真琴	「より良い社会づくりに向け、チーム力を高める連携・接続」

(3) 全国連合小学校長会研究協議会大会秋田大会

◇期 日：10月17日(木)・18日(金)

◇場 所：秋田県秋田市

◇研究領域：V教育課題 第11分科会「社会形成能力」

◇提 言 者：寿都町立潮路小学校長 前田 敦子

「社会形成能力を育む教育活動推進における校長の役割と指導性」

4. おわりに

第15次3年次研究の最終年である今年度は、先の2年間の研究成果を基盤に、まとめを行うべく研究活動を進めてきた。「校長の指導性と役割」という視点を、管内全校と、また、全連小プロジェクトチームとも共有をし、後志管内の共通テーマとし、共同研究として進めることができた。

今後は、新たな研究テーマを設定し研究活動を推進していくこととなるが、今まで積み重ねてきた研究成果を土台にして、管内共通した実践を目指し、共同研究を進めていく。また、全道・全国校長会の研究趣旨に添い、それぞれの地域性を生かした取組を進め、その取組が、後志管内全体の子どもたちの力を育むことに結び付くよう推進していく。